編集規定

制定：平成21年5月8日

改正：平成27年6月28日改定

日本コラージュ療法学会

１）本誌は，日本コラージュ療法学会の機関誌であり，『コラージュ療法学研究』と称し（欧文誌名はJournal of Japanese Collage Therapyと称する），１年１巻発行する。

２）本誌は，学会の編集委員会の責任に基づき，編集発刊の業務がなされる。なお，編集委員のほかに，編集協力委員として何人かの専門家に依頼することがあり，その際は，その氏名を本誌に記載するものとする。

３）本誌には，巻頭言（展望），研究論文（Research Paper），資料（Brief Report），討論（Discussion），文献情報（Review），学会通信欄を設ける。ここでの研究論文とは，未公刊のコラージュ療法に関する学術研究論文（事例研究を含む）を言う。資料とは，未公刊の事例，調査，実験，理論などに関するレポートを意味する。

４）本誌への投稿は原則として本学会正会員に限る。研究論文・資料は，この投稿によって構成し，いずれも編集委員会の審査を経て，採択の可否が決定される。その際，論文の書き換え，加筆，修正，あるいは上記３）に示したジャンルの変更などを要請されることがあり，また一部の字句については編集委員会の責任において修正することもある。なお，英文論文には100ドルの審査料を申し受けることもある。

５）投稿に際し，取り上げる事例については原則として本人の許諾を得ること。さらに執筆にあたっては，とくに人権およびプライバシーに十分配慮すること。名前や地名，施設名などのイニシャル表記においても，実際の頭文字を安易に用いず，無関係の文字をあてるなどの配慮が求められる。

６）本誌への投稿の際には以下の執筆要綱に沿うこと。

①原稿は原則として，日本コラージュ療法学会ホームページに公開されている投稿用テンプレートを使用して作成すること。またテンプレートを使用する際には，同じくホームページに公開されている説明文書に沿って使用すること。

②“研究論文”は，心理臨床学に関する学術論文（事例研究を含む）を示し，本文，図，表，引用文献，英文アブストラクト，キーワードなどを含めて刷り上り12ページ（19,200字）を限度とする。“資料”は，事例・調査・実験・理論等に関するリポートを示し，本文，図，表，引用文献，英文アブストラクト，キーワードなどを含めて，刷り上り6ページ（9600）字を限度とする。“討論”は著者の主張や，コラージュ療法および関連領域における動向，展望などについて述べたものを示し，査読はしないが，掲載については編集委員会が判断する。

③写真枚数は原則として10枚を超えることはできない。提出写真は，鮮明な画質のものとする。各写真は図として扱い，文中と対応した通し番号を明記すること。写真には通し番号のほかに，タイトルおよび70字程度の注釈をつけられる。

④英文タイトルおよび抄録：研究論文，資料には必ず英文タイトルを付し，100-175語以内の英文抄録を作成し，さらにその和訳をつける必要がある。英文については英語の専門家の校閲を経ていること。

⑤キーワード：研究論文，資料には必ず3語のキーワード（日本語，英語両方）を付すること。

⑥表記法：外国の人名，地名などの固有名詞の表記には原語を用いる。その他の外国語はなるべく訳語を用いること。外国語を用いる場合は，初出の際，訳語に引き続いて（）をつけ示すものとする。

⑦引用の表記：本文中に文献を引用する場合は，引用した箇所を“　”でくくり明示すると同時に，著者名と公刊年を記載すること。

a) 本文中に，著者名を記載する場合

森谷（1987）は述べている。

b) 引用の終わりに，著者名を示す場合

“　　　　　”（森谷，1987）。

c) 訳本の場合には，原点の発行年と訳本の発行年を，“/”で併記する。

d) 著者が複数いる場合には，筆頭者のみを挙げ，和文献であれば“ら”，洋文献であれば“et al”を用いる。

＜和文献の例＞

本文中記載：岡田ら（1997）　引用末記載：（岡田ら，1997）

⑧引用文献は，本文の終わりに「文献」の見出しで，著者の姓を規準にしてアルファベット順に記載し，文献番号はつけない。

　雑誌）　著者名，公刊年（西暦），表題，誌名，巻（ゴシック），号，頁

　単行本）著者名，発行年度（西暦），表題，出版社名（外国の場合は出版地も記す），引用頁

　　編者と担当執筆者の異なる単行本の場合は，該当執筆者を筆頭にあげ，以下，発行年度，表題，編者名，書名,発行所，頁の順とする。

和書例）

　　森谷寛之（1995）．子どものアートセラピー，金剛出版，pp．141-148

 今村友木子（2001）．学校教育相談　速水敏彦・吉田俊和・伊藤康児（編）生きる力をつける教育心理学　ナカニシヤ出版　pp．277-288.

　訳本例）

　　Sullivan HS（1953）． The interpersonal theory of psychiatry. New York： W. W. Norton.　（中井久夫・宮崎隆吉・高木敬三・鑪幹八郎（訳）（1990）．精神医学は対人関係論である　みすず書房）

⑨投稿書類：投稿原稿（正）とは別に，そのコピーを2部（副）,計3部と，次の項に規定するフェイスシートを学会事務局に提出すること。コピーにおいては，氏名，所属,謝辞などを削除する。郵送の場合は必ず簡易書留によること（レターパックプラスの使用も可とする）。

⑩フェイスシート：投稿の種目，表題，氏名，所属，連絡先をＡ４用紙に記載し，かつ表題，氏名，および所属には英文を添えて，本文に添付すること。連絡先については，住所，電話番号，Fax番号，e-mailを記す。連名の場合は，その論文に関して責任をもって応答できる者の連絡先を記す。

⑪外国語論文は原則として，5000語を限度とする。また，要約は100語～175語とする。その他の点は，上に記した日本語論文の条件に準ずるものとする。

７）投稿された論文（本文，写真など）については採用・不採用にかかわらず返却しない。

８）校正については，著者は初校のみとし，再校は編集委員会がするものとする。

９）論文の掲載に際して，図・表などに関し印刷上特別の費用を要する事情が生じた場合には，著者が負担するものとする。

１０）著者に対しては別刷を20部贈呈する。それ以上の部数を必要とする場合は，著者がその費用を負担するものとする。

１１）学術誌に掲載された論文の著作権は日本コラージュ療法学会にあり，無断で複製あるいは転載することを禁ずる。

１２）論文執筆の手引書として，日本心理学会発行の「執筆・投稿の手引き」を推奨する。図表の換算，引用文献の表示などの詳細な表記について，参照されたい。

１３）投稿者は掲載料20,000円を負担すること。

１４）原稿の送付先は下記とする。

〒840-0806

佐賀県佐賀市神園3－18－15　西九州大学臨床心理相談センター内

　　　日本コラージュ療法学会事務局

　　　送付の際には、封筒に「投稿原稿在中」と朱書すること。